

関西の活かしたい自然エリア（エリア4 紀伊水道とその沿岸） 和歌山県・徳島県エコツアー体験学習

「関西の活かしたい自然エリア」の保全・活用のため、複数の府県域をまたいだ自然エリアを対象として、エコツアーの体験学習を行いました。

1 エコツアー体験学習の目的

広域連合で選定した自然エリアの保全・活用を進めるための手段としてエコツアーを計画・実施するにあたり、ツアーを構成するさまざまな要素を体験してもらうためのコースを設けました。

今回は、和歌山県から徳島県にまたがる自然エリア（4 紀伊水道とその沿岸）を対象としています。その目的は以下の通りです。

- 生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み（歴史、文化）等について多様な視点からの気づきを得ること。
- 自然エリアを行政や活動団体、旅行会社、教育機関等が活用する手段として、エコツアーを企画・運営するための足掛かりとすること。

2 日程・参加者等

- ・日程は平成30年10月23日(火)・24日(水)の2日間。
- ・今回の参加者は検討委員、自治体、旅行業関係者、学生等の計23名（ただし、1日目は17名）。
- ・エコツアーの訪問地間の移動は貸切バスを利用しました。
- ・各訪問場所では有識者や保全活動実施者等に、訪問地の特徴や歴史、活動内容等を解説して頂きました。

3 エコツアー体験学習の概要

■1 日目 (10/23) 和歌山県～徳島県のルートおよび所要時間等



■エコツアー1日目（10/23）の行程および所要時間

※	訪問地等	所在地	着 時間	発 時間	備考
	起点 1（ＪＲ新大阪駅）	大阪市		8:30	
	起点 2（ＪＲ和歌山駅）	和歌山市	10:10	10:15	和歌山県からの参加者が合流
	起点 3（和歌山港）	和歌山市	10:30	10:30	徳島県からの参加者が合流
①	和歌山県立自然博物館	海南市	11:00	12:00	干潟の自然環境、文化、景観の全体説明
②	和歌浦干潟	和歌山市	12:10	13:00	干潟の生きもの観察等
③	昼食（やぶ新）	和歌山市内	13:10	14:10	シラス料理等
④	玉津島神社	和歌山市内	14:20	15:25	歴史（和歌と紀伊水道等）
⑤	紀伊水道	和歌山県・兵庫県・徳島県	16:40	17:20	和歌山港から徳島港へ、フェリーで移動しながら適宜、学習
	徳島港	徳島市	18:30	18:40	
	ワークショップ	徳島市	18:50	21:00	徳島ワシントンホテルプラザ
	解散（ＪＲ徳島駅）	徳島市	21:10		各自宿泊先へ

※①～⑤がエコツアーでの訪問地

■エコツアー2日目（10/24）の行程および所要時間



■エコツアー2日目（10/24）の行程および所要時間

※	訪問地等	所在地	着 時間	発 時間	備考
	起点（JR 徳島駅）	徳島市		8:30	
①	吉野川河口住吉干潟	徳島市	8:55	9:35	干潟の見学、解説
②	吉野川第十堰	名西郡石井町	10:20	11:15	吉野川の歴史、氾濫対策等
③	昼食（旬菜食堂）	名西郡石井町	11:40	12:25	地産食材を使ったランチ
④	佐藤阿波藍製造所	板野郡上板町	12:40	13:25	タデからすくも製造工程の説明、藍文化の解説（すくもづくり）
⑤	本藍染矢野工場 （藍染め体験）	藍住町	13:40	15:15	ハンカチの藍染め体験等
⑥	大西陶器	鳴門市	15:35	16:05	大谷焼の窯見学
			16:05	16:25	エコツアー総括
	終点 1（JR 池谷駅）	鳴門市	16:35	16:45	地元地域からの参加者が解散
	終点 2（名谷駅）	神戸市	19:00	19:10	
	終点 3（JR 新大阪駅）	大阪市	20:10		最終解散場所

※①～⑥がエコツアーでの訪問地

4 各訪問地の概要と当日の様子

■ 1 日目の訪問地① 和歌山県立自然博物館

滞在時間：60 分(11:00-12:00)

内 容：館内の紹介と和歌山県の生きもの（特に海の生きもの）に関する解説

和歌山県立自然博物館は、「和歌山にこだわる！」をコンセプトに、和歌山県で見られるたくさんの生きものが展示されています。自然エリア 4「紀伊水道とその沿岸」に生きるたくさんの生きものを見て学ぶことができます。

当日は、館内を回りながら、学芸員の方に館内の紹介と和歌山県の生きもの（特に海の生きもの）に関して解説していただきました。また、普段は入れない博物館のバックヤードを特別に案内していただきました。



学芸員の方による生きものや館内の解説



バックヤードを特別に案内

■ 1 日目の訪問地② 和歌浦干潟

滞在時間：50 分(12:10-13:00)

内 容：干潟の生きものの紹介・観察、景観の紹介等

和歌浦干潟は、「わかの浦に 潮満ちくれば潟を無み 芦辺をさして 鶴鳴きわたる」と万葉の歌聖：山部赤人によって和歌にも詠まれた景勝地で、歴史的にも文化的にも価値が高い場所です。

和歌浦干潟は、泥・砂・レキ等干潟のさまざまな環境がそろっており、自然豊かな生きものの宝庫としても有名です。ハクセンシオマネキ、イボウミニナ、そして「和歌浦」の名をもつワカウラツボ等絶滅危惧種を間近で観察することが出来る数少ない干潟でもあります。

当日は、和歌山県立自然博物館の学芸員の方に、和歌浦の景観や歴史について解説していただきました。また実際に干潟に降りて、そこで見られる生きものの観察を行いました。



和歌浦の景観と歴史についての解説



干潟の生きものの観察

■ 1 日目の訪問地③ 昼食（やぶ新）

滞在時間：60 分(13:10-14:10)

内 容：昼食（しらす丼、かき揚げ等）、和歌山の漁法の解説

和歌浦漁港おとっとと広場にある「やぶ新」で、地元産の新鮮なしらすを使ったしらす丼とかき揚げをいただきました。価格は1人あたり750円。

また和歌山県の職員の方に、和歌山県内の漁について解説していただきました。



しらす丼としらすのかき揚げ



和歌山県内の漁に関する解説

■ 1 日目の訪問地④ 玉津島神社

滞在時間：65 分(14:20-15:25)

内 容：玉津島神社や和歌浦の歴史の紹介等

玉津島神社は名勝「和歌の浦」に鎮座し、古くから和歌の神様として多くの万葉人の信仰を集めてきた神社で、境内地は県指定文化財にもなっています。住吉大神（攝津）・柿本大神（明石）とともに「和歌三神」の一つとして、朝廷はもとよりひろく一般文人墨客から崇められてきました。

当日は、玉津島保存会の方から、玉津島神社や和歌浦の歴史について解説いただきました。その他、和歌浦を一望できる奠供山（てんぐやま）や不老橋を訪問しました。



玉津島神社



玉津島神社や和歌浦の歴史の解説

■ 1 日目の訪問地⑤ 紀伊水道

滞在時間：40 分(16:40-17:20)

内 容：フェリーで移動しながら、自然エリア 4「紀伊水道とその沿岸」全体に関する解説

紀伊水道は、太平洋沿岸域の北側の水道部で、吉野川の大規模な河川が流入し、河口部には干潟や塩性湿地が見られます。海岸は自然海岸が主体で、岩礁や砂丘、石灰岩地（白崎海岸）等様々な環境が見られます。このように多様性に富んだ海岸沿いの環境には、それぞれの環境に特有な希少な動植物が生息・生育しています。

紀伊水道は釣りや海水浴といったレクリエーションの場所である他、海域全体が漁場となっています。生態系のつながりの視点としては、紀伊水道の沿岸の海岸線はほとんどが自然海岸であり、陸から海への移行帯（エコトーン）の連続性が維持されています。また、河口域・汽水域は魚の稚魚が育つ「海のゆりかご」となっており、成長した魚は海に戻ります。

当日は、有識者の方から、紀伊水道全体の生態系、生物多様性に関する事や成ヶ島等、「自然エリア 4 紀伊水道エリア」に含まれる様々なホットスポットについて解説していただきました。



フェリー上で紀伊水道の解説



淡路島方面を望む

■ 2日目の訪問地① 吉野川河口干潟

滞在時間：40分(8:55-9:35)

内 容：干潟に関する解説、干潟の生きものの紹介・観察等

吉野川は「四国三郎」とも呼ばれ、日本を代表する暴れ川としても有名です。野鳥や干潟生物の宝庫であり、渡り鳥の中継地点となっています。

当日は、吉野川で長年生きものを観察されている方から、干潟に関する解説、干潟の生きものの紹介をしていただき、実際に生きものを観察しました。



干潟の生きものの観察



干潟に生息するシオマネキ

■ 2 日目の訪問地② 吉野川第十堰

滞在時間：55 分(10:20-11:15)

内 容：吉野川について（特に氾濫とその対策に関する歴史）の解説、NPO 法人 川塾の活動紹介

吉野川第十堰は、農民は水不足や塩害の解消を目的に吉野川を分流するため築かれた堰で、江戸時代に築かれた後、明治時代以降の改修で現在の姿となりました。

当日は、現地で活動されている NPO 法人の方から、吉野川の氾濫とその対策に関する歴史や、日ごろの活動について解説していただきました。



NPO の方による解説



第十堰

■ 2日目の訪問地③ 昼食（旬菜食堂）

滞在時間：45 分(11:40-12:25)

内 容：昼食（地元の素材を使ったランチ）、お土産購入

「阿波食ミュージアム 旬菜食堂」で地元食材を使った昼食をいただきました。今回のツアーでは特別に、エコツアー限定メニューを用意していただきました。



本エコツアー限定の特別メニュー



デザートも特別メニュー

■ 2日目の訪問地④ 佐藤阿波藍製造所

滞在時間：45分(12:40-13:25)

内 容：吉野川下流部の藍文化についての解説、すくもつくりについての解説

○ 阿波藍の歴史

藍（アイ）とはタデ科イヌタデ属の植物で、タデアイとも呼ばれます。古くから世界各地で青色の染料として栽培・利用されてきた植物です。

藍の乾燥葉を発酵させてつくる天然藍染料を「すくも」と言います。天然藍染めは、すくもを使った染料液によって染められます。そして、徳島で製造される「すくも」を「阿波藍」と呼びます。

徳島の吉野川下流域は、吉野川の氾濫により稲作をするには条件が悪い地域でした。一方で、吉野川の氾濫は下流域に肥沃な土地をもたらし、水の便もよく、藍栽培にとっては適した地域でした。

そのような状況で、藍栽培は洪水の被害が少なく、稲作りよりも収益の高い作物として発展していきました。

当日は、佐藤阿波藍製造所さんに、藍染めの原料となる「すくも」（アイという植物を発酵させたもの）の作り方や職人の技、吉野川下流部の藍文化について解説していただきました。



佐藤阿波藍製造所さんによる解説



発酵中の「すくも」

■ 2日目の訪問地⑤ 本藍染矢野工場

滞在時間：95分(13:40-15:15)

内 容：本藍染めについての解説、ハンカチの藍染め体験等

本藍染矢野工場さんでは、本藍染めについて解説していただいた後、ハンカチの藍染体験を行いました。



ハンカチの藍染め体験



大谷焼の大甕（おおがめ）とすくも
※青い塊がすくも

■ 2日目の訪問地⑥ 大西陶器

滞在時間：30分(15:35-16:05)

内 容：大谷焼の工場見学、大谷焼に係る文化の解説

大谷焼（おおたにやき）は、徳島県鳴門市大麻町の名産品で、県を代表する陶器です。ざらつきが感じられる風合いと、かすかな光沢を放つ質感が特徴です。

作り方にも特徴があり、大甕（おおがめ）などの大物陶器を作る際に、助手が作業台の横に寝ころび、足でろくろを回す「寝ろくろ」という技法があります。

当日は、大西陶器さんに大谷焼の工場を見学させていただき、大谷焼やその文化について解説していただきました。



藍染めにも使われる大甕（おおがめ）



大谷焼の伝統的製法「寝ろくろ」

関西広域連合環境保全局
エコツアーアンケート結果

【実施日】平成30年10月23日(火)・24日(水)

【回答数】参加者23名分（うち旅行業関係者4名）
ただし、23日は17名分のみ

(1) アンケートの設問内容について

今回のエコツアーの終了後に、参加者に対してアンケートを行いました。その設問内容を以下に示します。ただし、Q4～Q7の設問については、旅行事業者や地域のツアープランナーの参加者のみを対象としたものです。

アンケートの回答人数は、1日目の訪問地に関する設問は17名分（うち旅行業関係者4名分）、2日目の訪問地およびエコツアー全体に関する設問は23名分（うち旅行業関係者4名分）です。

Q1) 所属先・氏名

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

Q3) エコツアー体験学習で良かった内容とその理由

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

Q5) 本エコツアーが一般の旅行であった場合の最高販売価格（新大阪駅発着とする）

Q6) 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題について（日本人旅行者、訪日外国人旅行者のそれぞれを対象とした課題と、両者に共通する課題）

Q7) エコツアーを実施する際に重視する要素（食事、文化、景観、非日常の体験、自然観察、知的好奇心、その他）

Q8) 自由記入欄（ご感想、提案、アイデア等）

(2) アンケートの結果について

(1) で示した設問に対する参加者の回答結果を以下に示します。なお、Q2 と Q4 は訪問地ごとの設問となっているため、記載順が設問時とは異なっています。

なお、Q1 は個人情報となるため掲載しません。

■ 1 日目の訪問地① 和歌山県立自然博物館

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

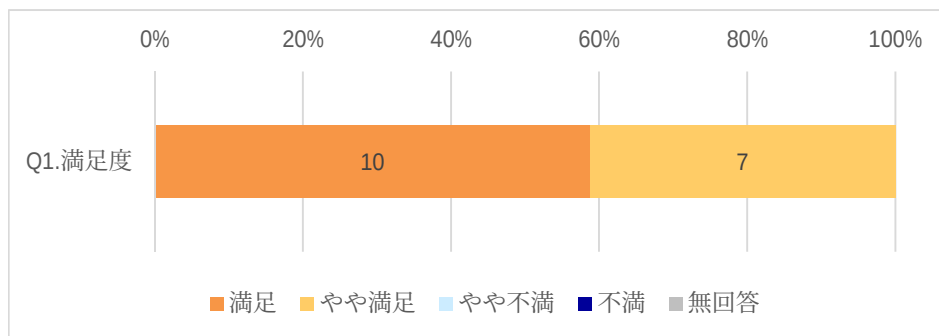


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-1 エコツアーでの満足度 (和歌山県立自然博物館)

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・水族館としての機能もあり、とても楽しめる内容。バックヤードを見学できるのも魅力的。年齢問わず楽しめる。雨でも OK なのが良い。(旅行業)
- ・バックヤードや学芸員の解説等、普段見られないものが印象に残った。スケジュールの都合もあったが、もっと時間を取っても良い。(行政)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ガイドの話がとても面白く、自然・歴史・文化のお話をたくさん聞けて楽しかったです。自由時間もあれば嬉しかったです。(学生)
- ・バックヤードを積極的に見せてもらえる点と、博物館以上に水族館としての機能がある点が良かった。名称の英語表記が欲しい。(旅行業)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

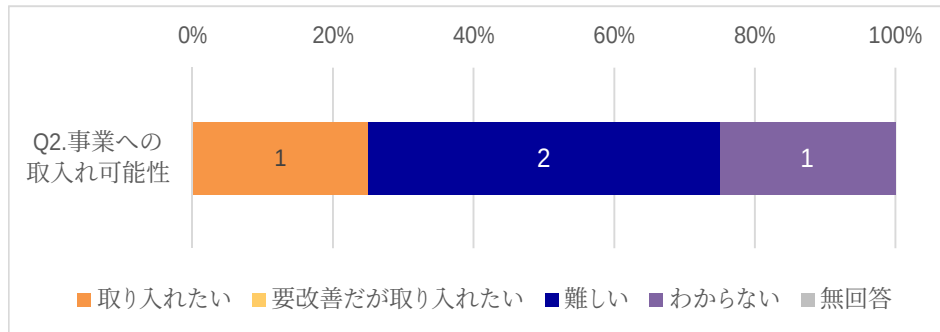


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-2 事業への取り入れ可能性 (和歌山県立自然博物館)

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

・駐車場も整っている、他団体とかぶらなければ楽しさ UP。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

・大人向けにするには弱い、小学生ならば良い。

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて 100%となり、全ての参加者が概ね満足する内容であった。
- ・通常は入れないバックヤード内で学芸員の解説を受けることができたことに対し、特別感や満足感があって良かったという回答が多い。
- ・一方、事業への取り入れ可能性については、「難しい」が4名中2名となった。
- ・子ども向けの学習ツアーとしては良いが、大人向けのツアーとしては少し物足りず、博物館のみを対象としたツアーでは、事業化は難しいという意見であった。博物館だけではなく、他の訪問地との組み合わせでバランスをとる必要があるだろう。

■ 1 日目の訪問地② 和歌浦干潟

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

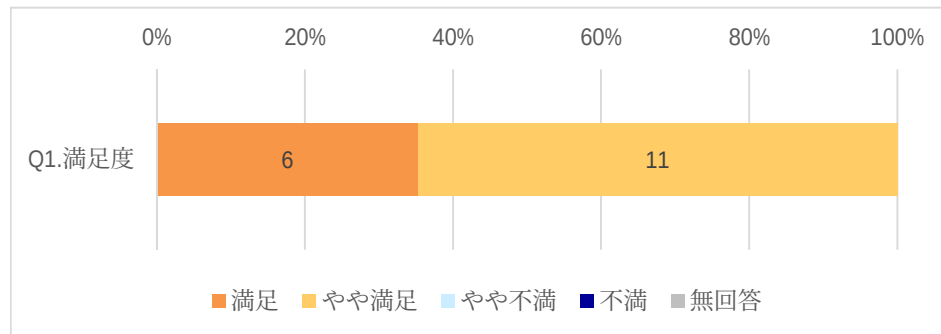


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-3 エコツアーでの満足度（和歌浦干潟）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・干潟には様々な生物が存在しており、それらの生物が生息し続けられるような環境づくりをしていかなければならないと感じた。(行政)
- ・高台から見える景色から、干潟での体験や景観が分かりやすくて良かったです。生きものも観察できて良かったです。(学生)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・干潟の生きものも魅力的だったが、それ以上に不老橋の「歴史的景観権」論争の話が興味深かった。(コンサル)
- ・時間が短かったですが、こういった生物がいるか分かりました。潮の満ち引きが見られたのが良かったです(旅行業)。

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

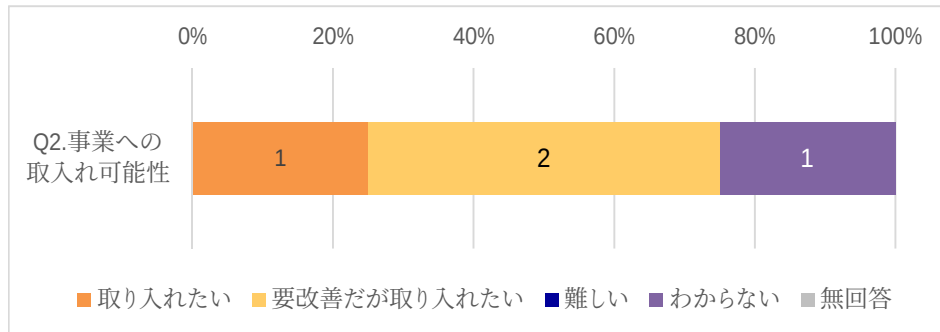


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-4 事業への取り入れ可能性について (和歌浦干潟)

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・エコ、俳句、和歌山旅行という切り口でなら、取り入れられる。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・長靴レンタルが可能であれば取り入れたい。
- ・天気にも左右されるので、メインではなくオプションとしてなら良い。

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

- ・長靴のレンタル体制等がまだ完備していない。

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて 100%となり、全ての参加者が概ね満足する内容となった。
- ・現地において、自然環境とそこに生きる生きものたちを対象に、実際に観察することができて良かった、という回答が多い。
- ・一方、事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が 4 名中 3 名となった。
- ・生きものや俳句等、様々な切り口でエコツアーに取り入れられる可能性があるという評価があった他、天候がネックとなるのでオプションツアーとしての実施や、長靴のレンタル体制が必要等の意見があった。

■ 1日目の訪問地③ 昼食（やぶ新）

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

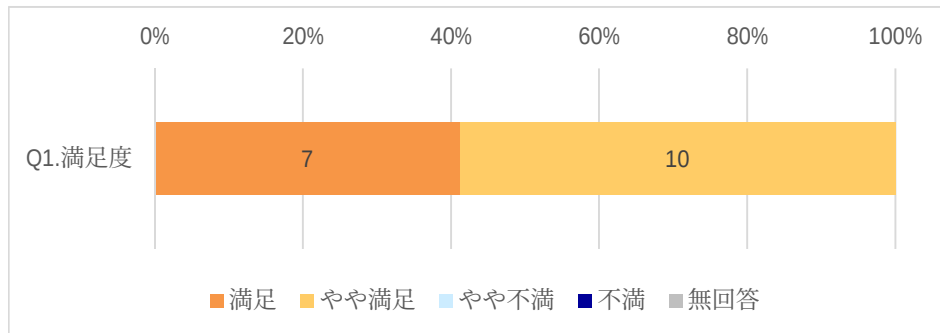


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -5 エコツアーでの満足度（やぶ新）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・美味しかった。エコな食器にした方がよい。料理を作るところが見えて、地元の方々と話しかけるところがよかった。(旅行業)
- ・しらす丼、かき揚げが美味しかった。お土産が買えたら最高だった。港の漁船や漁法の話も魅力的。(有識者)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・漁法の話や、食後に港に行ったのは◎。食事の内容とセットにすると、より印象的になると感じた。地元の方がシラスをどのような存在に思っているかが気になる。(コンサル)
- ・新鮮なしらすで美味しかったが、男性だと少し量が少ないのではないと思う。しかし食後の漁港の見学は良かった。(行政)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

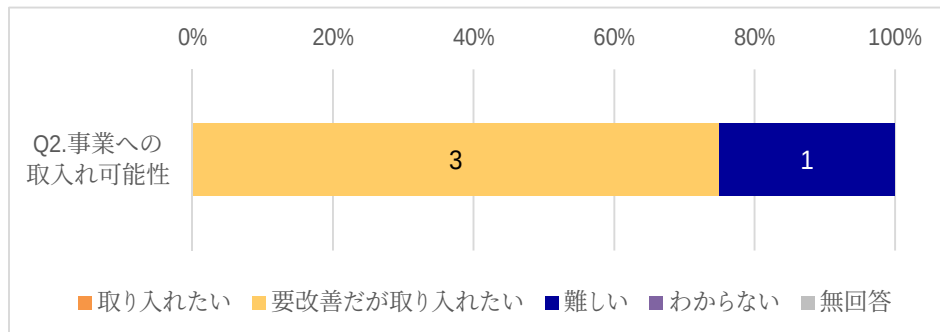


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -6 事業への取り入れ可能性（やぶ新）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・地元の食体験が面白い。
- ・室内なら器を良くする、外なら海近くで食べたい。
- ・味はとても美味しいので、持ち帰って景色の良いところで食べたい。

「難しい」と回答した方の理由・意見

- ・食事ボリューム、表に値段が出ているのはマイナス。ものは良し。

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて 100%となり、全ての参加者が概ね満足する内容であった。
- ・しらす丼等の料理がとても美味しいと好評だった他、地元漁港や漁法の話が好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「要検討だが取り入れたい」が4名中3名、「難しい」が1名となった。
- ・料理の味は良いが、改善点として屋外の景色の良いところで食事をしたい、食事の器がプラスチック素材であり、再利用可能な食器にした方が良いという意見が多かった。

■ 1日目の訪問地④ 玉津島神社

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

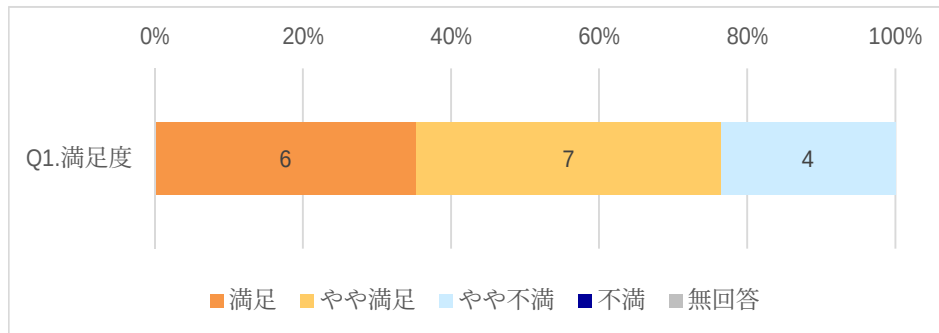


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-7 エコツアーでの満足度（玉津島神社）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・神社の歴史もさることながら、地元の方が七五三のお参りに来ていた様子から、今も地元にとって大切な場所と感じさせてもらった。(旅行業)
- ・私は和歌山市民だが、玉津島神社の歴史等は知らなかったし、山の上からの景色も見たことがなかったので、非常にいい経験になった。自然の景観を守らなければいけないと感じた。(行政)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・可能であれば、解説者のお話を聞くだけでなく、一枚絵や図等を使ってもらえると嬉しいと思った。(コンサル)。
- ・眺望点からの景色が和歌浦全体の把握ができてよい。歴史の話は一言で語りつくせないのも、民俗とのかかわりの方が分かりやすかったと思う。(有識者)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・前提知識がなく、理解できず。階段を上がり、見た景色がきれいでした。(旅行業)
- ・もう少し時間をゆっくりとって欲しかったと感じました。しかし山の景色はキレイで、参拝してからのぼるのはいいと思いました。(学生)

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

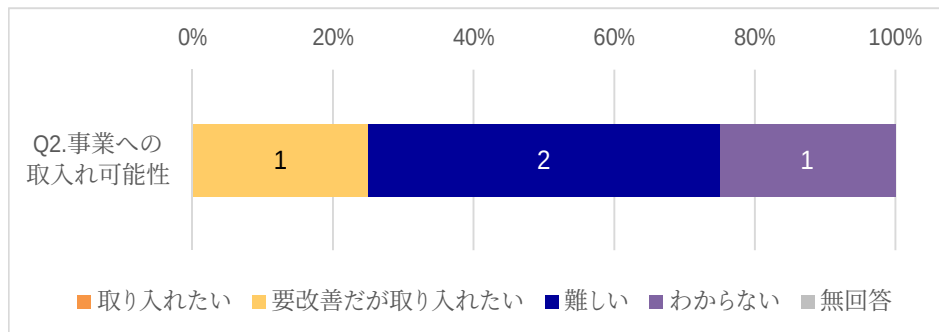


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-8 事業への取り入れ可能性（玉津島神社）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

・神社、山の上からの景色と解説がセットで良い。

「難しい」と回答した方の理由・意見

・日本文化に興味がある台湾のお客さん向けのツアーであれば、取り入れられる。

「わからない」と回答した方の理由・意見

・ツアーのコンセプトに合えば取り入れたい。行程にもよる。

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて約75%であった。
- ・神社の裏手にある奠供山（てんぐやま）からの景観や、神社の歴史が好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「要検討だが取り入れたい」が4名中1名、「難しい」が2名となった。
- ・日本文化に興味があるインバウンド向けのツアーに組み込めるという意見があった他、改善意見として、神社を拝観したり、景色をゆっくり眺める時間が欲しかったという意見や、歴史について事前知識がなく、話がイメージしにくいという意見があった。

■ 1日目の訪問地⑤ 紀伊水道

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

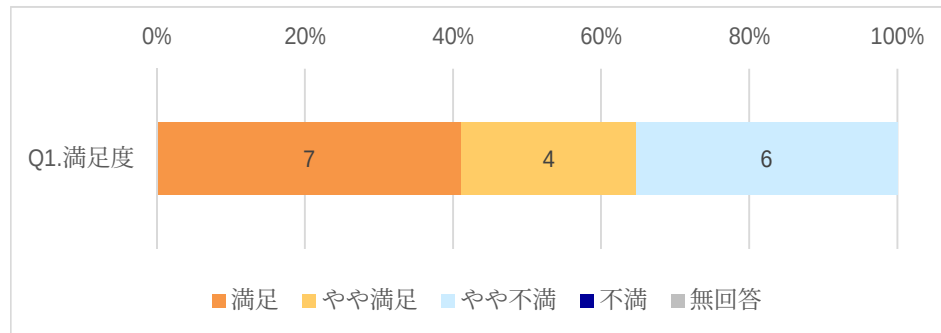


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -9 エコツアーでの満足度（紀伊水道）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・和歌山～徳島をフェリーで移動できるのは正直知らなかったが、長時間かからず移動ができて良かった。船から淡路島も見れて良かった。(旅行業)
- ・フェリーでのワークショップは、本来実施場所とすべき所ではないが、副次的におもしろい効果があった。(行政)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・丁寧な解説をしていただいたが、野外での解説のため、聞き取りづらかった点。(行政)
- ・川の水がとても綺麗で印象的でした。日本の自然を肌で感じられたと思います。(学生)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・行程に船があるのは旅情感が高まって雰囲気がある。船上での解説には拡声器は必須。天候の関係で海上からの景色が楽しめなかったのは残念。(有識者)
- ・「紀伊水道」というとらえ方を実感することがほとんどできなかったのが残念。(NPO)

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

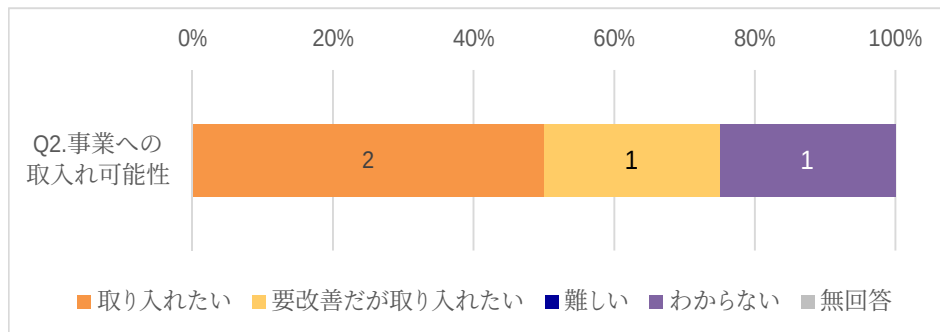


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。 -10 事業への取り入れ可能性 (紀伊水道)

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・船上での解説があったことで、移動時間をストレスなく過ごせる。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・フェリーを用いて和歌山と徳島をまたぐ行程はおもしろく、取り入れやすい。

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて約60%であった。
- ・和歌山県から徳島県へのフェリーでの移動は体験として面白い、船からの景色が良い等の点が好評であった。
- ・一方、船上での解説が聞き取りづらかった、曇天であったため折角の景色が楽しめなかった等の意見もあった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「要検討だが取り入れたい」が4名中3名、「難しい」が1名となった。
- ・ここでも、フェリーでの移動は特別感があり、ツアーの要素として好評だった。

■ 2日目の訪問地① 吉野川河口干潟

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

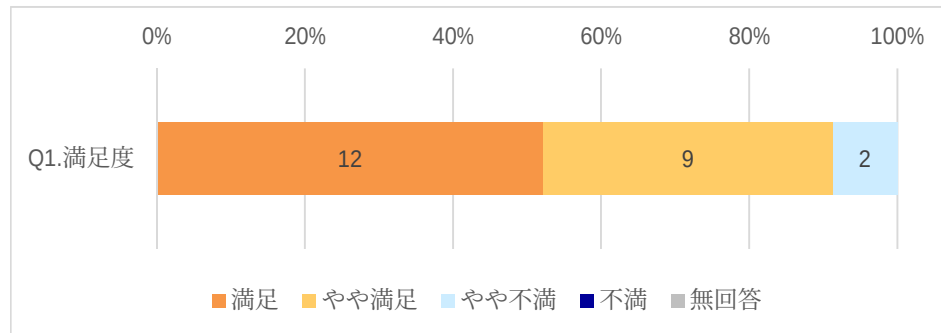


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。 -11 エコツアーでの満足度（吉野川河口干潟）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・吉野川と生活の関わりの説明と、視覚的に生きものが確認できるわかりやすさが良い。子どもにとっても楽しい。(旅行業)
- ・それぞれの視点から考えられる要素が充実していた。ミチゲーションの話、底生生物－鳥類とのり養殖、絶滅危惧種の話等。(NPO)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・干潟の生態系や干潟のはたしている役割について、もう少し詳しく知りたいと思いました。(行政)
- ・沿岸から見下ろすとカニを中心にいろんな生物を肉眼で確認できる点が良かった。野鳥も時間があれば説明を受けたかった。(旅行業)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・目前にいる鳥の説明があると良かった。(コンサル)

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

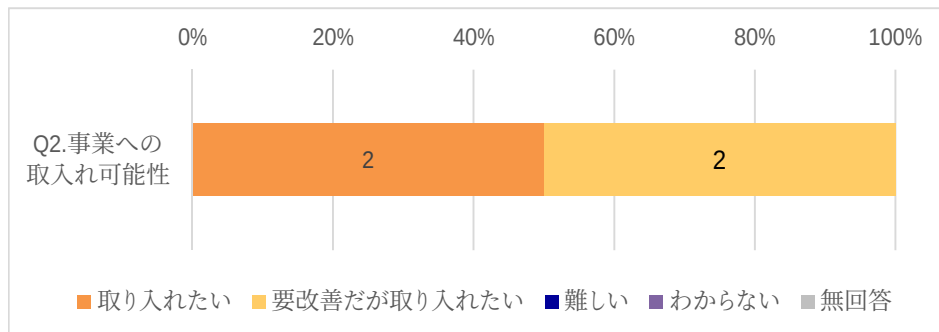


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-12 事業への取り入れ可能性（吉野川河口干潟）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ガイド養成、子供向け学習として。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・鳥と自然観察が好きなお客さん向け。
- ・バスツアーの場合、バスの停車場所が気になる。

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて約90%を超え、参加者のほとんどが概ね満足する結果であった。
- ・干潟の生きものを、有識者の解説つきで、間近に観察できたことが好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中4名（100%）となった。
- ・生きものや自然観察が好きな人たちや、子どもを対象とした学習ツアーへ組み込みやすいという意見があった。

■ 2日目の訪問地② 吉野川第十堰

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

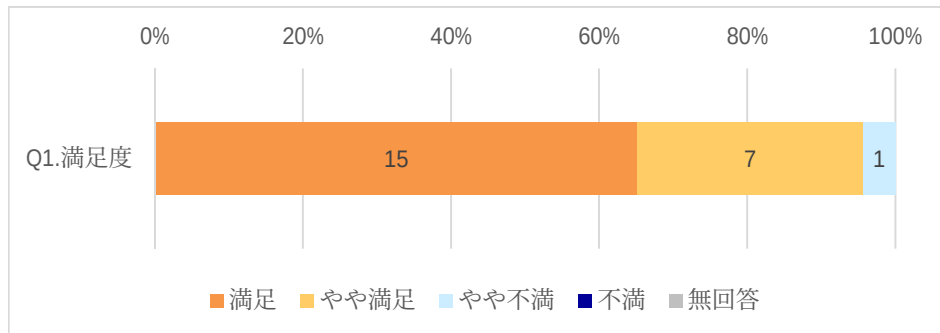


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。-13 エコツアーでの満足度(吉野川第十堰)

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・吉野川の氾濫対策、歴史等分かりやすく良かった。
- ・川塾さんの存在が大きい。エコ以外に治水等のコンテンツも興味がわいた。(有識者)
- ・川の水質がとてもきれいで、子供向けのイベントが楽しそうだと思いました。地元の方との交流にもつながる。(学生)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ここ単体ではインパクトは弱く感じました。歴史的な論争(旅行業)。
- ・解説により吉野川の魅力や川塾さんの取組を知る事ができた。川の中に入っの体験時間がもっとほしかった。(行政)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・吉野川で見逃がせない訪問地。青石+松杭の写真等あれば…。エコツアーとしては第十堰問題には触れてほしかった。(NPO)

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

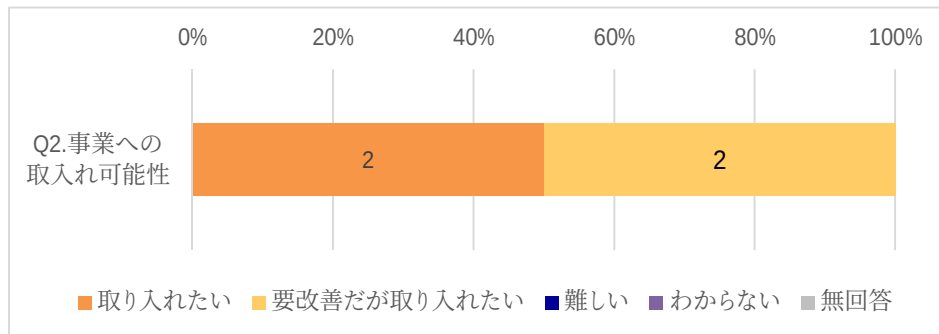


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-14 事業への取り入れ可能性（吉野川第十堰）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・川で遊んで吉野川とその文化を知れる意義。
- ・市内に近い場所で地元の川文化を体験できることがいいと思う。夏の阿波踊の1日行程に入りたい。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ガイドが良かった。コンセプトに合えばO.K.

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて約90%を超え、参加者のほとんどが概ね満足する結果であった。
- ・吉野川の氾濫対策の歴史や第十堰の構造についての解説、川塾さんの活動紹介が好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中4名となった。
- ・川の水質も良いので、地元住民との交流も合わせた川遊び等のアクティビティとして、ツアーに活かせるという意見があった。

■ 2日目の訪問地③ 昼食（旬菜食堂）

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

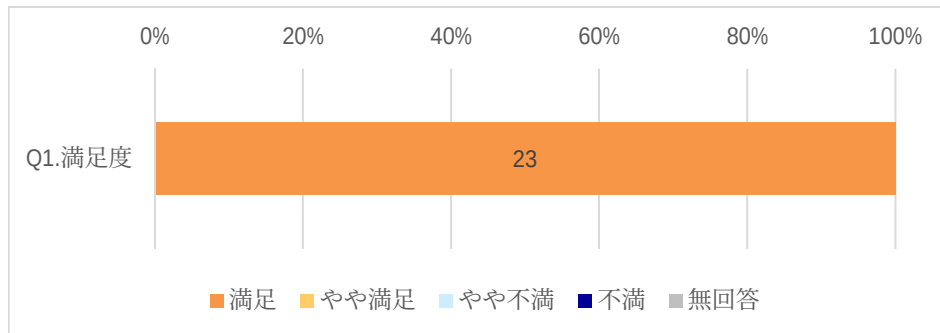


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -15 エコツアーでの満足度（旬菜食堂）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・ツアーのために独自の郷土料理を用意してくださり感激です。温かいものが用意されていてよかった。味也大満足です。(有識者)
- ・バス内での稲飯さんの説明込みで、おいしい昼食だった。ツアーとして考えるならお土産購入の時間を取った方が良い。(コンサル)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

なし

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

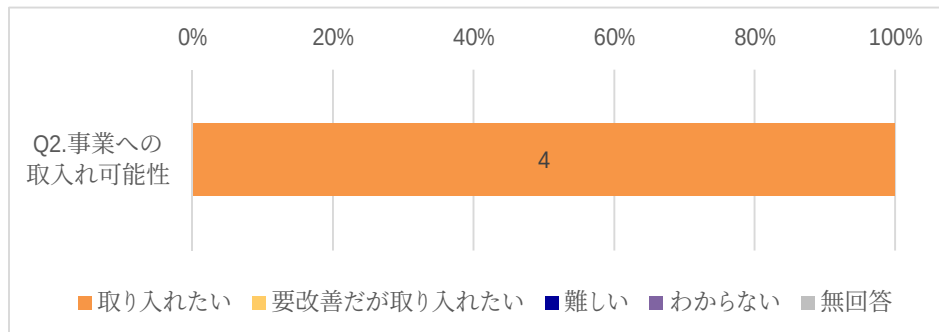


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。 -16 事業への取り入れ可能性（旬菜食堂）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・地元の食材体験が人気。
- ・料金次第だが特別料理も良かった。
- ・オリジナルメニューを作ってくれるので、ツアーに取り入れやすい。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」が100%となり、全ての参加者が満足する結果となった。
- ・本エコツアーのために特別に用意して頂いた地元食材を利用したメニューが、美味しくて特別感があり、大変好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中4名となった。
- ・事業者の希望に合わせたオリジナルメニューを用意してくれることが、ツアーの要素として組み込みやすいという意見が多い。

■ 2日目の訪問地④ 佐藤阿波藍製造所

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

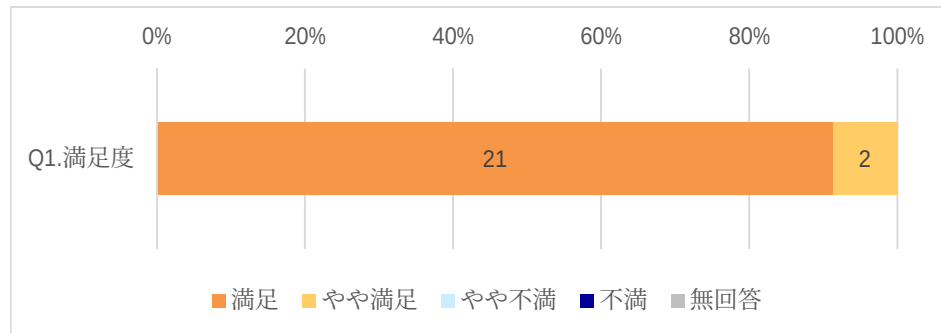


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -17 エコツアーでの満足度（佐藤阿波藍製造所）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・職人さんとの交流が感動する。体験しながら伝統文化を学ぶことがよかった。(旅行業)
- ・すくもの製造から染めまでの流れを見られたのが良かった。戦時中、藍の栽培が禁止された中で、ひっそりと伝統が守られてきたことは興味深かった。染め物の体験は楽しかった。(コンサル)
- ・建物、お話、倉内見学、本当に貴重な興味深い内容でした。職人文化、地域文化と自然のつながりがしっかり伝わりました。(NPO)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・連絡不足で解説者が不在であったため待たされた。しかし、解説者からは実体験に基づく非常に興味深いお話を頂いた。(行政)
- ・見るだけでなく、すくものにおいを感じることができた。染め体験の前に話を聞くと次が楽しみになる。(旅行業)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

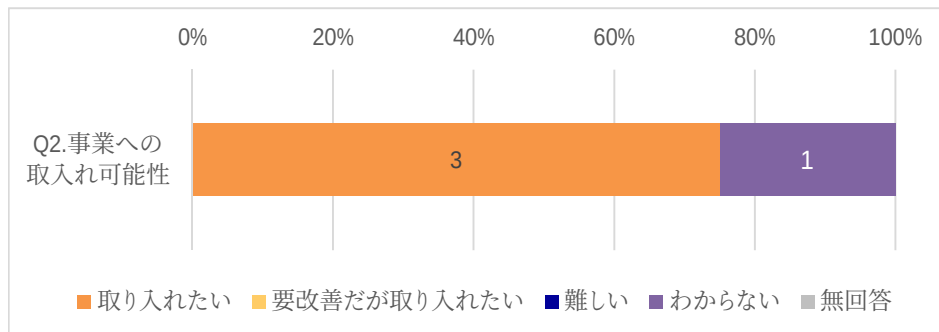


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-18 事業への取り入れ可能性（佐藤阿波藍製造所）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・日本伝統文化の体験として取り入れやすい。
- ・徳島の日本一を表現できる場所。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

- ・立ち寄るだけにすることも。話だけにする。

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて100%となり、全ての参加者が概ね満足する内容であった。
- ・職人さんの実体験に基づく貴重なお話（熟練の技、戦後の藍文化継承の危機を乗り越えた話等）を聞いたことが好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中3名となった。
- ・日本の、徳島の伝統文化を表現でき、ツアーの要素として組み込みやすいという意見があった。

■ 2日目の訪問地⑤ 本藍染矢野工場

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

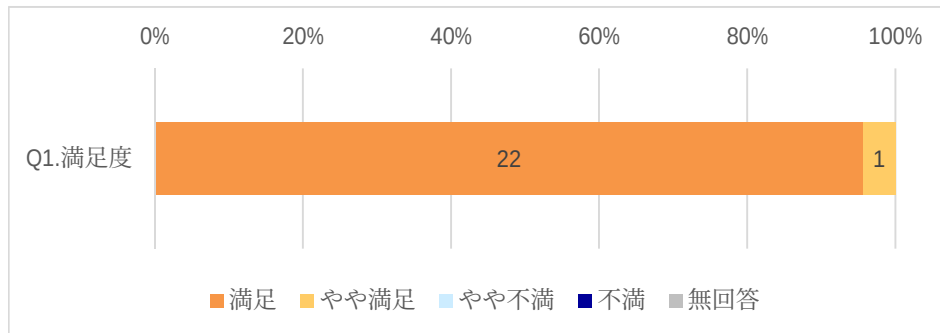


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -19 エコツアーでの満足度（本藍染矢野工場）

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・藍染めについて、本藍染の特性や歴史、日常の作業を聞くことができ、また体験もできることはツアーに取り入れやすいと感じた。(行政)
- ・ハンカチを実際に染めることで、どのようにつくられているかよく分かりました。持って帰れるのも、すごく思い出になりました。(学生)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・藍染の体験ができて、普段できない体験で嬉しかったです。(学生)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

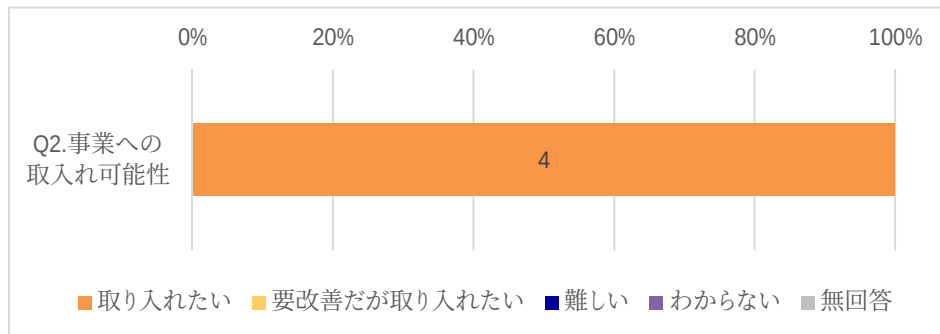


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-20 事業への取り入れ可能性（本藍染矢野工場）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・体験もできるし、職人の説明も良い。
- ・バスの停車位置さえクリアできればO.K.
- ・説明内容の充実と体験。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて100%となり、全ての参加者が概ね満足する内容であった。
- ・職人さんから仕事へのこだわりと誇りを聞いたことや、体験しながら伝統文化を学べること、自作のお土産も持って帰れることが非常に好評であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中4名となった。
- ・満足度が高く、全ての人におすすめできる体験という意見があった。バスの駐車場所が課題という意見もあった。

■ 2日目の訪問地⑥ 大西陶器

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満の4段階評価

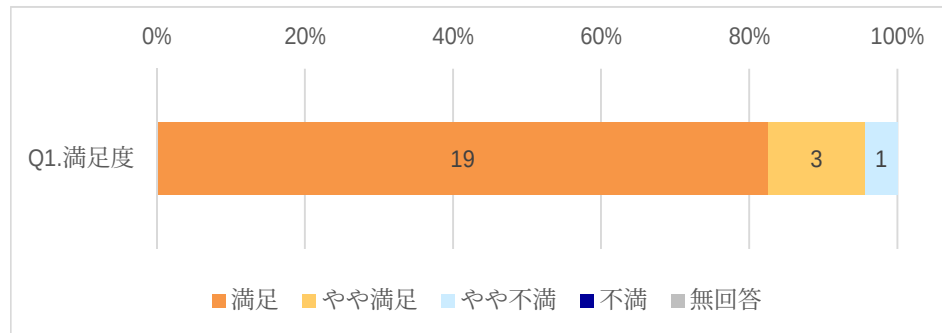


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-21 エコツアーでの満足度 (大西陶器)

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・のぼり窯が周辺環境の問題で継続できなくなったことが残念に感じた。地元の土が少なくなっていること等自然環境との関わりが深くエコツアーの要素としても重要。(有識者)
- ・機械を使わず人と人が協力して陶器を作るという話をしてくださり、あうんの呼吸や、繊細な力の入れ具合は、人間ならではの能力だと改めて感じた。(行政)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・寝ろくろの見学ができたこと、そしてその文化の伝承の意義を感じました(コンサル)。

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・実技が見られたのは良かった。他の焼物と比較する情報があれば良かった。(旅行業)

「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからないの4段階評価

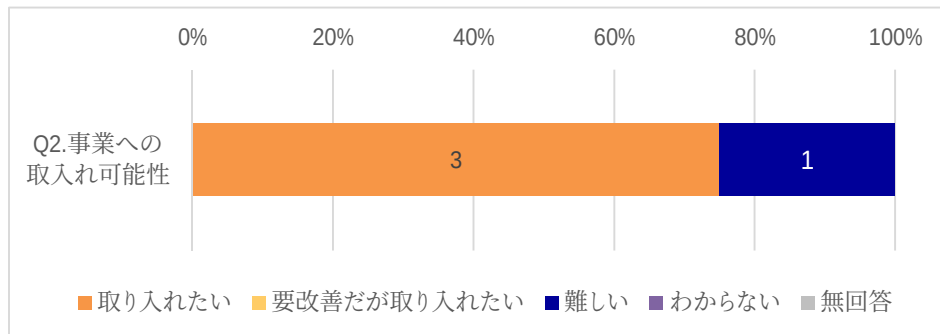


図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-22 事業への取り入れ可能性（大西陶器）

「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ 伝統文化＋体験＋買い物が旅程に組み込みやすい。
- ・ ろくろの様子と職人さんの仕事に感動。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

- ・ 見るだけならば魅力を感じない、体験が欲しい。

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・ 体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて約 90%を超え、参加者のほとんどが概ね満足する結果であった。
- ・ 職人による実技や熟練の技を見ることができたこと、エコツアーとして自然環境との関わりの変化（大谷焼の材料である地元の土の枯渇等）の話を聞いたことが好評であった。
- ・ 一方で、話を聞くだけでなく、体験的な要素も欲しいという意見もあった。
- ・ 事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」「要検討だが取り入れたい」が4名中4名となった。
- ・ 日本の伝統文化、職人の技を間近で見ることができ、焼き物のお土産も購入できる等、旅程に組み込みやすいという意見があった。

Q3) エコツアー体験学習で良かった内容とその理由

【プログラムについて】

- ・純粋な自然や生物との出会いの理解を深める場と、生業に重点を置いたアプローチの両方を体験できた点が良かったです。また、トータルコーディネート（マネジメント）の重要性を、和歌山と徳島の違いから実感することができました。ツアーとしての流れ、見せ方、体験、解説のバランスや構成の仕方については多々、工夫が必要とは思いますが。生物多様性を考える上でのいろいろな見方、アプローチの気づきの場になりました。(NP0)
- ・藍染め体験、大西陶器での体験（実演）見学がとても印象に残っています。あまり詳しく知らない人でも楽しめるような内容だと思いました。(学生)

【解説者について】

- ・徳島のコーディネーターのコーディネート力がすばらしく、徳島県側のツーリズムの物語性の完成度が高かった。職人のみなさんの語りが穏やかだが力強く、哲学。和歌山県側でも時間が確保できればもっといろいろなコンテンツが提供できたと思います。(有識者)
- ・博物館で、水槽の裏側を見られたことは、すごく印象的で貴重な経験ができました。学芸員の方のお話もとてもおもしろく、よりいっそう面白かったと感じました。(学生)

【紀伊水道とその沿岸の豊かな自然について】

- ・生物の観察については新たな発見があり、とても面白かったです。(行政)
- ・特に2日目徳島は、吉野川からはじまり、その水の活用と生活に関わっていることが藍染作りにもリンクされており、日本の伝統と自然との関わり、プラスアルファで体験もあり、人の魅力もありで、とても有意義かつ、すぐに提案できそうな内容でした。(旅行業)
- ・川とのつきあいが育んだ人と自然の関係が奥深く、発酵とのつき合いが極めて日本らしいもので、継いでいくべきもの、エコツアーで伝えていくべきものと感じました。(コンサル)

【その他】

- ・利用者とつながりをつくるのも大切なことなので、参加者名簿等あれば良かったです。旅行会社の参加者と色々話せて良かった。今後はいろいろ相談したい。(旅行業)
- ・1日目を終えた後のグループワークでは、意見の交換ができ、自分の考えの幅を広げることができたと思うので、非常によかったと思う。(行政)

Q5) 本エコツアーが一般の旅行であった場合の想定最高販売価格（JR 新大阪駅発着として）

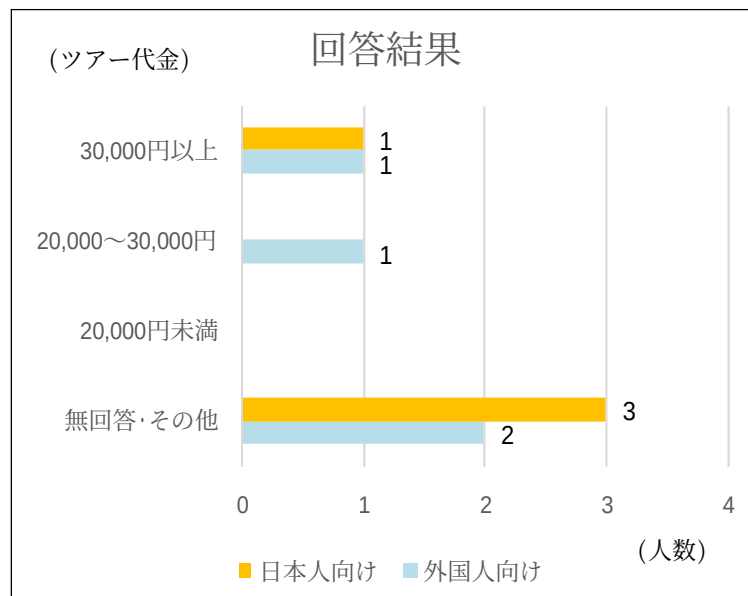


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -23 本エコツアーの想定最高販売価格

【今回の参加人数 23 名でツアーを実施する場合の 1 人当たりの負担額】

$$725,840 \text{ 円}^* \div 23 \text{ 名} = 31,558 \text{ 円}$$

【バスの定員(正シートのみ)45 名でツアーを実施する場合の 1 人当たりの負担額】

$$1,016,240 \text{ 円}^* \div 45 \text{ 名} = 22,583 \text{ 円}$$

※エコツアーの費用：バス代（ガソリン代含む）、高速道路利用代、フェリー代、駐車場代、食事代（1 日目昼食、1 日目夕食、2 日目昼食）、宿泊代、入館料、体験料、ガイド謝礼、保険代

○まとめ

- ・今回は宿泊込みのエコツアーであり、内容も高密度だったので、20,000 円～30,000 円以上と比較的高めの金額設定を意識されていた。
- ・ただし、今回のエコツアーの実施に係る費用のみで、23 名で実施の際は 1 人あたり 31,558 円、45 名で実施の際は 1 人あたり 22,583 円となったので、今回の行程をそのまま商品とした場合、価格はより高額になると想定される。

Q6) 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題について（日本人旅行者、訪日外国人旅行者のそれぞれを対象とした課題と、両者に共通する課題）

【日本人向け】

- ・専門性の高いガイドの確保
- ・告知方法(エコに関心の強い人向け)
- ・ストーリー(テーマ)の明確化とその時を活かす工夫
- ・なるべく2泊3日くらいまでの行程におさまるツアー設定

【外国人観光客向け】

- ・専門性が高く、英語等を話することができるガイドの確保
- ・紙面の用意(英文・中文等)
- ・情報の告知および連絡窓口の設置
- ・外国人向けのマナーのガイドラインが必要
- ・深い内容/情報を面白く伝える工夫が必要
- ・よりテーマを絞ったものが必要
- ・バス、船の移動中の内容工夫

【共通課題】

- ・休憩地、トイレへの配慮
- ・買い物時間の確保
- ・野外でのアクティビティが多いので、天候不良の際の代案が備わっていることが必要
- ・どこまでお客様が体力的にいけるか、十分な検討が必要
- ・ツアーの多い設定について検討が必要

○まとめ

- ・日本人観光客に向けてはテーマの明確化や訪問地間を繋ぐ物語の設定の仕方が課題という意見や、優秀なガイドの確保が課題という意見があった。
- ・外国人観光客に向けては、上記と同様の課題に加え、専門的な情報を通訳できるガイドの確保、自然性の高い場所や地域住民の日常を案内する際のマナーのガイドラインが課題という意見があった。

Q7) エコツアーを実施する際に重視する要素（食事、文化、景観、非日常の体験、自然観察、知的好奇心、その他）

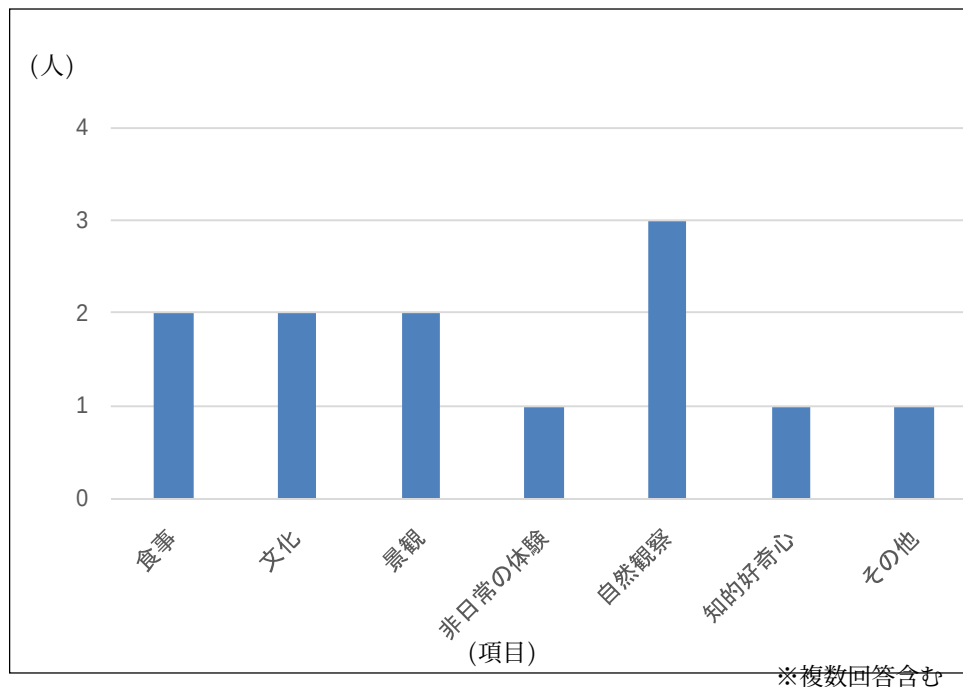


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。 -24 エコツアーで重視する要素

【コメント】

- ・内容の深さ、充実。
- ・行き方の情報が入手しやすいかどうか。
- ・すべてはつながっていること、その中で持続可能な社会、生物多様性等大きなテーマで話をつなげたい。
- ・本質は「自然」であるので、そこは軸として広げれば良いと思う。ストーリーを作り良い思い出を作ること。そのために食事や文化もからめる。
- ・ツアーというからには、食・移動・ガイドの基本線は必須。すべて重要ですが、エコツアーの場合は特に何が体験になるかが大切だと思います。

○まとめ

- ・グラフでは「自然観察」を重視する参加者が多かったが、記述意見としてはツアーのテーマとなる物語を重視するものが多かった。
- ・その地域ならではの体験を重視する意見が多かった。

Q9) 自由記入欄（ご感想、提案、アイデア等）

- ・エコに関心がある人がつながったので、今後もメーリングリストで継続的につながり、また情報共有したい。短期で生み出せるものではない。(旅行業)
- ・最初は博物館の来館者向けでツアーを作るのが近道と思う。博物館の企画を私たちがコーディネートしていく。足りない部分を補うために、旅行社を利用してくれた方が私たちはリスクなく仕事ができる。ゆくゆくは自由研究ツアーをやってみたい。(旅行業)
- ・特に徳島の2日目が今後に活かれます。とてもストーリー性豊かでした。(旅行業)
- ・今回は盛りだくさんのメニューだったので実際のエコツアーでは、1つ1つの要素に時間をかけられるようなプログラムを意識したい。特に干潟の生きもの観察（どれくらいの商品価値があるか検証したい）の時間は十分にとれるようにすることが大切と感じた。(有識者)
- ・2日目は物語性があって、時間的な制約を除けばとてもよい流れだったと思う。解説のタイミング等、解説員の腕にもツアーの印象は大きく左右されるように感じた。体験型のプログラムは記憶に残るので積極的に取り入れたら良いと思う。(コンサル)
- ・徳島県でのツアーは非常に参考になりました。ツアーを通じてのガイドの存在は重要だと実感しました。広域に取り組む場合は、県を越えて共通するテーマでまとめて良いかも知れません。ありがとうございました。(行政)

平成 30 年度 「エコツアー体験学習」におけるワークショップでの成果

(1) ワークショップの目的

このワークショップでは、「自然資源の魅力の探し方、掴み方」「様々な主体間の連携のつくり方」の 2 つの視点について、参加者が主体的に考え、下記のワークショップの狙いに示したような気づきや、モチベーションの向上の機会づくりを目的として実施しました。

【ワークショップの狙い】

- ・エコツアーを企画運営する様々な立場の参加者同士で交流し、参加者のアイデアや経験を通して情報交換、意見交換を行うことで、エコツアーの企画運営に関する気づきを得る事。
- ・交流を通じて、エコツアーのような自然資源の保全活用方法に対する考えを共有し、ネットワークづくりや協働意識を高め、参加者のモチベーションを向上させる事。

また、昨年度に自然エリア 16「北摂・南丹」において、試行的に行ったエコツアーを通して作成された「エコツアー手引書」の利用普及も図りました。

(2) ワークショップの手法と流れ

本ワークショップを実施するにあたり、エコツアー 1 日目に参加者に向けて、『「私の視点」記録シート』（図 1）を配布し、ワークショップまでに各自記入していただきました。

上記のシートの記入を前提として、本ワークショップを進行しました。

なお、本ワークショップのファシリテーターは、兵庫県立人と自然の博物館の橋本佳延氏に担当していただきました。

【ワークショップの流れ】

○テーマ 1：和歌山県・徳島県エコツアー体験学習の感想の共有

- ・ 1 日目の和歌山県エコツアー体験学習の感想（印象に残ったこと・気になったこと）
訪問場所：和歌山県立自然博物館、和歌浦干潟、おとっとと広場、玉津島神社

○テーマ 2：エコツアー主催のときに克服すべき課題と方法

- ・エコツアーの参加者（旅行業者、有識者、行政、コンサルタント等）により、エコツアーを主催する際の課題等について話合い

○全体の共有

- ・各班で意見交換の内容をまとめて発表し、参加者全員で共有

○まとめ（橋本先生）

- ・特殊性をどう打ち出すか（お客様の満足度）
- ・保全側の想い ⇔ ツアー旅行者の想い ※コミュニケーションが必要
- ・あなた（エコツアー）が去ったあとにも良い効果が残る
- ・エコツアーでのマナー

平成 30 年 10 月 23～24 日

和歌山県 ・ 徳島県エコツアー体験学習
「私の視点」記録シート

この度は、本エコツアー体験学習へのご参加、有難う御座います。お手数をお掛けしますが、以下の質問にご記入していただき、解散前に事務局スタッフにご提出お願い致します。

頂いたご意見は、今後のエコツアー体験学習に反映させていただきます。また、23 日夜のワークショップでは、本用紙に書かれたご意見を活用して意見交換を図りますので、お時間のある際にご感想やご意見を記載して頂けると助かります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【質問 1】 ツアー参加者の視点で見たとき、訪問先の見聞で感じたこと、印象に残ったこと/ものはなんですか？

■和歌山県

■徳島県

【質問 2】 ご自身がエコツアーを主催する立場とした時、今回のツアーで感じた課題や付け加えたいことはなんですか？

■課題

■付け加えたいこと

【質問 3】 ご自身がエコツアーを企画する立場とした時に、今回のツアーの中で参考にしたいことや、そこからヒントを得たアイデアをお書きください。

ご協力有難うございました。

和歌山県・徳島県エコツアー体験学習 事務局一同

図 1 ワークショップのための事前配布資料

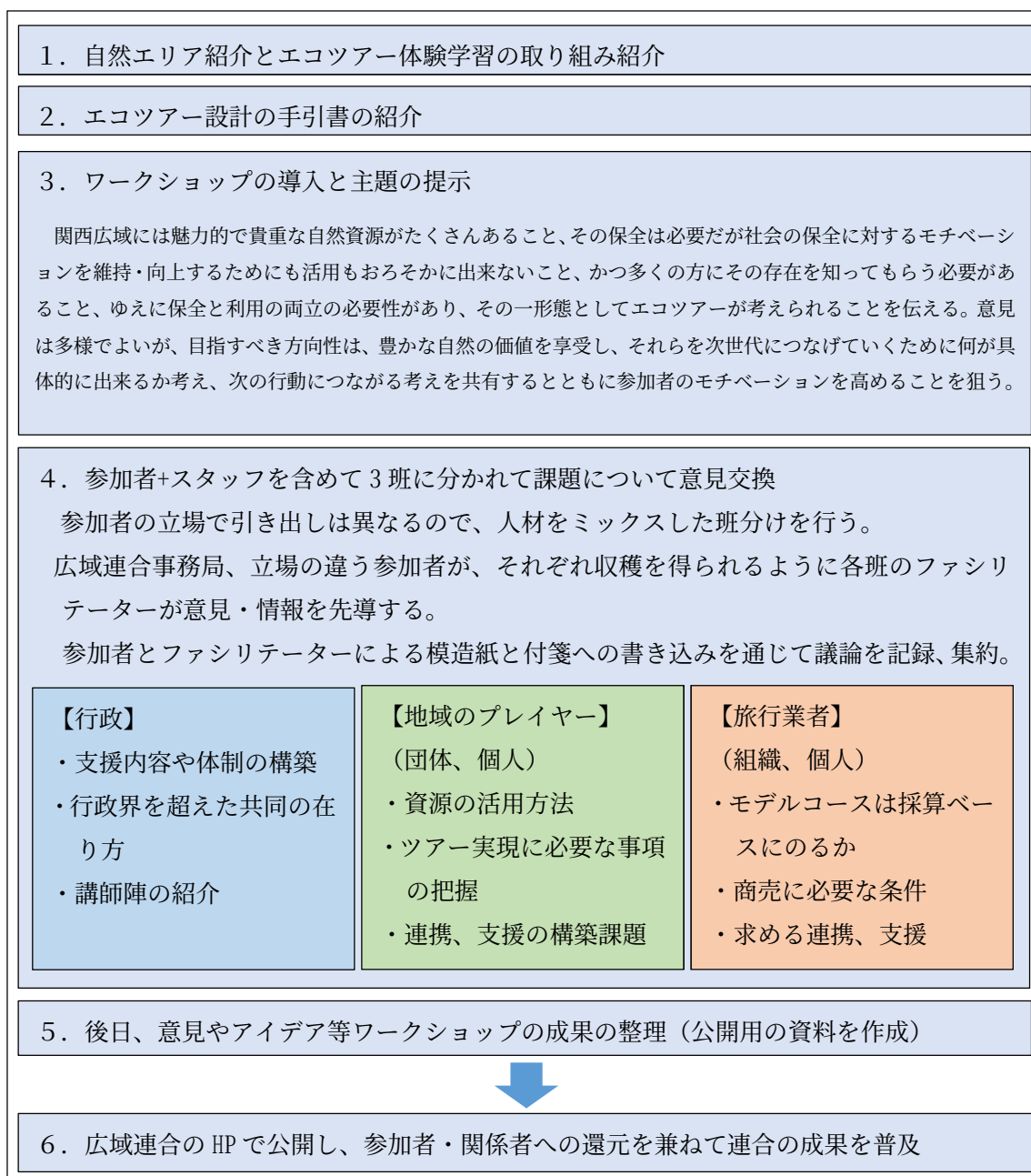


図2 ワークショップの進行



ワークショップの様子



ワークショップの導入と主題の提示



課題について意見交換と KJ 法による整理



班ごとに発表

(3) ワークショップの結果

本ワークショップにより参加者から出された意見の概要や、総括を以下に記します

【話合により出された意見】

○1 日目の感想

- ・水族館のバックヤードと、たくさんの魚が観れたことが印象に残った。
- ・和歌浦干潟を掘り起こす等、より能動的な生きものの探しがしたかった。
- ・船上での解説が新鮮だった。
- ・(昼食時の) 3 種類の干潟があることや漁獲方法の紹介が面白かった。
- ・地域らしい料理 (しらす丼) が美味しかった。
- ・不老橋に関連する環境保全の歴史話では、橋の見方が変わった。自身の環境意識の向上につながった。

○自然に対する価値観

- ・日本は海外に比べ、自然に対してあまりお金を払わない傾向にある。
- ・海外だと国立公園には入場料が設定されており、入場料を園内の保全に使用している。
- ・自分が直接利用するもの（認識できるもの）やサービスにはお金を払うが、自然のように、あって当たり前と思うものに対して、楽しむことや保全等にお金を払う文化はない。
- ・インバウンドには、日本のマナーや規則、規制が分からない（例：立ち入れる場所、捕獲等してよいもの等）。

○自然でお金を稼ぐ仕組み

- ・地域ならではのコンテンツを企画し、それに見合うエコツアーの料金設定が必要。
- ・地域独自のお土産等で、お金を落とせるようにする。
- ・よくある内容で終わらせない（自然＋歴史等）。
- ・「手作り感」の魅力をアピール（どこでもできる内容ではないように）。
- ・地域の人々の暮らしと交流は魅力的なコンテンツになる。
- ・盛り上がる仕掛けが必要。
- ・地域独自の郷土料理と食文化の紹介。
- ・長期滞在（2泊以上）のコンテンツづくり
- ・夏休み自然体験や子供自由研究等のコンテンツづくり
- ・コンテンツに体験を盛り込むことは欠かせない。

○エコツアーはテーマやコンセプトが大事

- ・あくまでお客様主体、お客様に求められるコンセプトづくりが重要。価値の創出の工夫。
- ・ストーリーが大事。ツアーとして楽しめる、興味をもつ内容が必要。
- ・保全意識が大きすぎると、お客様はついていけなくなる。まずは、参加者全員でなくても興味を持ってもらうところから。
- ・保全や自然の話しを聞くばかりだと疲れる。能動的に参加できる項目を設定する等、工夫が必要。あくまでお客様主体に考える。
- ・食時、移動、宿泊等も大事。
- ・その地域ならではのもの、体験が必要。地域の住民にとっての日常生活でもエコツアーのテーマや要素になりうる。
- ・見所地点毎のストーリーが繋がっていることが大事。

○コンセプト以外にもコーディネーターや解説者が大事

- ・訪問地に対する造詣が深い解説者がいるのといないのでは内容に大きな差があり、参加者に合わせた話題提供ができるとなおい。ガイドの質が大事。
- ・情報を持っており、フラットに問い合わせられる行政が、エコツアー企画者とガイドと

のマッチングを補助していただけると助かる。

- ・エコツアーの保全側と活用側を含めた交流があると良い。
- ・主にインバウンドを対象に、日本のマナーや規制、規則をまとめた資料、リーフレット、DVD 等があるべきで、ガイドによる注意喚起やバス移動中での DVD 上映等で意識付けが図れる。
- ・地域の日々の暮らしが見える解説が重要。

○協働の推進

- ・地元の人々との交流を促進し、コンテンツを作る。
- ・漁業組合等との協力関係づくり。
- ・地域の人たちが先生になる。
- ・旅行業者との連携

○ターゲット

- ・地域の子どもを対象にした環境学習（非営利）
- ・地域のことに興味のある住民を対象とした環境学習（非営利）
- ・地域との交流を目的とした地域の住民（営利・非営利）
- ・地域との交流を目的とした外国人（営利・非営利）
- ・特別な（非日常的な）体験を目的とした地域外の住民（営利）
- ・特別な（非日常的な）体験を目的とした外国人（営利）
- ・地域との交流を目的とした地域の住民（営利・非営利）
- ・地域との交流を目的とした外国人（営利・非営利）
- ・マニアックなニッチ（市場）を狙う手もあり

【ワークショップの総括】

○課題

- ・ツアーの利益をどう自然保護に循環させるか（保全側の人の意見が強い）。
- ・エコツアーでのマナー問題：旅行者（客）として訪れた際、悪い影響を地元にもたさなようにする。「楽しませてもらった分、地元にとっても気持ち良い形で帰っていく」という思いから出た課題。
- ・旅行業の方からすると、連れて行くからにはその地域の持つ「特殊性」を強く打ち出したいが、作り込めば作り込むほど平準化されるという意見もあり、どう打ち出すかが課題。
- ・保全側の思いとツアー旅行者の思い、旅行者をもてなす旅行業者の思いという部分を見ると、まだコミュニケーションが必要なのかなと感じる。
- ・保全の人は自分自身を中心に考えがち。気持ちは重々わかるが、ツアー旅行者やツアー

企画者にもっと歩み寄らなければいけないという気がする。

- ・エコツアー実施について、様々な課題が今回浮かび上がったが、今回訪れた場所はコンテンツの宝庫であり、様々なツアーを組むことができる。このような場所で、課題に対して納得できるように、何度もテストをやってみるべき。

○サステイナブルなエコツアーにするために

- ・「ツアー実施後も地元やその場所に良い効果が残るツアーをどう実現させていくか？」という思いでコミュニケーションをとることで、旅行業者が連れてきた旅行者が「楽しかった」「ありがとう」という気持ちで帰り、その「ありがとう」という気持ちが保全の気持ちに繋がったり、お金の形に繋がったりしていく。お金の形になったものが自然保護に活かされ、また新しい旅行者が来た時に「ありがとう」と言ってもらえるような環境を作る、そういう循環ができるようなコミュニケーションをした方が良い。
- ・コミュニケーションをしていかないと前に進まない。実際コミュニケーションからアクション（行動）へどう繋げていくかが重要なのではないか。
- ・今回のWSでは、コミュニケーションはある程度できたが、アクションに繋がるような議論は深められなかったように思う。
- ・次何か機会があった時等、ここで気心が知れた人同士で、トライアル（試行）でもいいが、何かアクションが生まれることを期待してまとめとしたい。